

平成22年3月期 第3四半期決算短信(非連結)

平成22年2月10日

上場会社名 株式会社 大運
 コード番号 9363 URL <http://www.daiunex.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理副本部長
 四半期報告書提出予定日 平成22年2月12日
 配当支払開始予定日 —

(氏名) 高橋 健一
 (氏名) 吉野 弘一

上場取引所 大

TEL 06-6532-4101

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年3月期第3四半期の業績(平成21年4月1日～平成21年12月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	営業収入		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第3四半期	4,393	△26.4	△142	—	△106	—	△45	—
21年3月期第3四半期	5,968	—	△167	—	△122	—	△605	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第3四半期	△0.78	—
21年3月期第3四半期	△10.34	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第3四半期	4,550	1,657	36.4	26.65
21年3月期	4,644	1,547	33.3	26.42

(参考) 自己資本 22年3月期第3四半期 1,657百万円 21年3月期 1,547百万円

2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	—	—	—	—
22年3月期	—	—	—	—	—
22年3月期 (予想)	—	—	—	—	—

(注)配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成22年3月期の業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	営業収入		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,980	△18.6	△76	—	△40	—	19	—	0.32

(注)業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注) 詳細は、4ページ【定性的情報・財務情報】4.その他をご覧ください。

(2) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

- ① 会計基準等の改正に伴う変更 無
- ② ①以外の変更 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	22年3月期第3四半期	62,280,394株	21年3月期	58,643,375株
② 期末自己株式数	22年3月期第3四半期	91,886株	21年3月期	85,311株
③ 期中平均株式数(四半期累計期間)	22年3月期第3四半期	58,688,278株	21年3月期第3四半期	58,561,073株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・上記で予想した数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の実績等は、業績の変化等により上記予想数値と異なる場合があります。

・ 定性的情報・財務諸表等

1. 経営成績に関する定性的情報

当第3四半期累計期間(平成21年4月1日～12月31日)におけるわが国の経済は、アジア向け輸出の増加や在庫調整の一巡による生産の回復に加え、経費削減した企業の収益が回復傾向にあることから、持ち直しの動きが出てきております。しかしながら、信用収縮や雇用情勢の悪化により景気低迷が長期化するリスクが依然として残っております。

当社の第3四半期累計期間の営業収入は4,393,367千円で、前年同四半期累計期間比 1,574,723千円(26.4%)となりました。

第1四半期会計期間の営業収入は1,326,628千円、第2四半期会計期間の営業収入は1,472,512千円、第3四半期会計期間の営業収入は1,594,225千円と業績は回復途上であります。

採算性の低い賃借施設の返還、人件費の削減等により損益分岐点は大幅に下がっており、営業力の強化と併せ、収益改善が進行しております。営業外収益73,592千円のうち受取補償金38,628千円は賃借施設の返還によるものであります。

また、特別利益として投資有価証券売却益85,832千円等、特別損失として投資有価証券評価損36,882千円等を計上しました。投資有価証券評価損につきましては、洗替法を選択しており、四半期末毎に見直しをするものであります。

この結果、当第3四半期累計期間の営業損失は142,744千円(前年同四半期累計期間営業損失167,596千円)、経常損失は106,898千円(前年同四半期累計期間経常損失122,757千円)、四半期純損失は45,602千円(前年同四半期累計期間四半期純損失605,703千円)と損失額は縮小しております。第3四半期会計期間においては、営業利益13,131千円、経常利益11,642千円、四半期純利益46,206千円と黒字転換しております。

2. 財政状態に関する定性的情報

(資産)

流動資産は、前事業年度末比6.9%増加し、2,278,900千円となりました。これは、現金及び預金の増加114,975千円、営業未収入金の増加93,221千円等によるものです。

固定資産は、前事業年度末比10.2%減少し、2,257,031千円となりました。これは、投資有価証券の減少169,319千円等によるものです。

繰延資産は、14,485千円となりました。これは、当第3四半期会計期間において株主割当増資を実施し、株式交付費を計上したものです。

この結果、総資産は、前事業年度末比2.0%減少し、4,550,417千円となりました。

(負債)

流動負債は、前事業年度末比6.6%減少し、2,066,685千円となりました。これは、短期借入金の減少218,000千円、賞与引当金の減少52,179千円、1年以内返済予定の長期借入金の減少42,241千円、営業未払金の増加160,442千円等によるものです。

固定負債は、前事業年度末比6.6%減少し、826,413千円となりました。これは、長期借入金の減少47,065千円等によるものです。

この結果、負債合計は、前事業年度末比6.6%減少し、2,893,098千円となりました。

(純資産)

純資産は、前事業年度末比7.1%増加し、1,657,319千円となりました。これは増資払込による資本金の増加72,740千円、資本準備金の増加72,740千円等によるものです。

3. その他

(1) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

一般債権の貸倒見積残高の算定方法

当第3四半期会計期間末の貸倒実績率が前事業年度末に算定したものと著しい変化がないと認められるため、前事業年度末の貸倒実績率等を使用して貸倒見積額を算定しております。

固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産については、事業年度に係る減価償却費の額を期間按分する方法により算定しております。

法人税等の算定方法

税金費用については、税引前四半期純損失であるため、年間の均等割を期間按分して計算しております。

(2) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はありません。

(3) 継続企業の前提に関する重要事象等

当社は前事業年度まで2期連続して営業損失を計上しております。当第3四半期会計期間において13,131千円の営業利益を計上いたしましたが、当第3四半期累計期間においては、142,744千円の営業損失となっております。当該状況により、継続企業の前提に関する重要な疑義を生じさせるような事象又は状況が存在しております。

当該重要事象等についての分析・検討事象及び当該重要事象等を解消し、又は改善するための対応策

設備等の見直しによる固定費の削減及び人件費の削減

平成19年4月の吸収合併及び売上増加の見込みに基づき肥大化した設備等の見直しを行い、賃借施設の返還により固定費の大幅な削減を実施中であり、また人件費の削減を実施しております。

営業強化を目的とした人的資源の集中

営業強化に人的資源の集中を図り、新規拡大に特化した部署を新設いたしました。今後更に積極的な営業展開を図ってまいります。

港湾貨物の領域を越えて物流サービスの提供

従来の港湾作業だけでなく、流通加工、保管、配送など幅広く港湾貨物の領域を越えた物流サービスの提供を目指してまいります。

主要港湾業者との提携強化による競争力向上

新しい物流の商品化を図るため、主要港湾業者との提携を強化し、国際複合一貫輸送での競争力を高めてまいります。

4 【四半期財務諸表】
 (1) 【四半期貸借対照表】

(単位：千円)

	当第3四半期 会計期間末 (平成21年12月31日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成21年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	990,274	875,299
受取手形	5,219	7,140
営業未収入金	894,174	800,953
立替金	313,345	343,353
その他	89,320	107,400
貸倒引当金	13,435	2,141
流動資産合計	2,278,900	2,132,005
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	266,828	284,547
構築物(純額)	3,527	3,806
機械及び装置(純額)	50,591	62,383
車両運搬具(純額)	122,227	168,821
工具、器具及び備品(純額)	16,097	20,837
土地	576,183	576,183
リース資産(純額)	41,215	9,699
有形固定資産合計	1,076,670	1,126,279
無形固定資産		
のれん	481,810	502,758
その他	36,166	44,767
無形固定資産合計	517,976	547,526
投資その他の資産		
投資有価証券	502,802	672,122
差入保証金	88,580	115,425
その他	398,947	357,678
貸倒引当金	327,946	306,976
投資その他の資産合計	662,384	838,250
固定資産合計	2,257,031	2,512,056
繰延資産		
株式交付費	14,485	-
繰延資産合計	14,485	-
資産合計	4,550,417	4,644,061

(単位：千円)

	当第3四半期 会計期間末 (平成21年12月31日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成21年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形	95,930	96,299
営業未払金	623,857	463,414
短期借入金	509,000	727,000
1年内償還予定の社債	-	10,000
1年内返済予定の長期借入金	581,359	623,600
未払金	71,365	70,118
未払法人税等	28,739	32,611
賞与引当金	7,956	60,136
その他	148,477	129,130
流動負債合計	2,066,685	2,212,310
固定負債		
長期借入金	553,415	600,480
退職給付引当金	143,784	139,936
その他	129,214	144,104
固定負債合計	826,413	884,521
負債合計	2,893,098	3,096,831
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,394,398	2,321,658
資本剰余金		
資本準備金	314,304	241,563
その他資本剰余金	433,864	434,013
資本剰余金合計	748,168	675,577
利益剰余金		
利益準備金	5,856	5,856
その他利益剰余金		
繰越利益剰余金	1,330,075	1,284,473
利益剰余金合計	1,324,219	1,278,617
自己株式	10,606	10,422
株主資本合計	1,807,741	1,708,196
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	150,421	160,966
評価・換算差額等合計	150,421	160,966
純資産合計	1,657,319	1,547,229
負債純資産合計	4,550,417	4,644,061

(2) 【四半期損益計算書】
【第3四半期累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)
営業収入	5,968,090	4,393,367
営業原価	5,769,963	4,203,918
営業総利益	198,127	189,448
販売費及び一般管理費	365,723	332,193
営業損失()	167,596	142,744
営業外収益		
受取利息	1,417	660
受取配当金	14,492	9,598
保険返戻金	36,239	-
受取補償金	-	38,628
その他	25,141	24,705
営業外収益合計	77,290	73,592
営業外費用		
支払利息	31,739	31,314
その他	712	6,432
営業外費用合計	32,451	37,746
経常損失()	122,757	106,898
特別利益		
固定資産売却益	3,506	1,363
投資有価証券売却益	5,087	85,832
貸倒引当金戻入額	-	528
償却債権取立益	3,967	-
賞与引当金戻入額	-	19,138
その他	671	2,009
特別利益合計	13,233	108,873
特別損失		
固定資産売却損	14	10
固定資産除却損	334	1,332
投資有価証券売却損	1,276	1,401
投資有価証券評価損	428,977	36,882
貸倒引当金繰入額	60,097	3,131
その他	-	554
特別損失合計	490,700	43,311
税引前四半期純損失()	600,224	41,337
法人税、住民税及び事業税	5,479	4,264
法人税等合計	5,479	4,264
四半期純損失()	605,703	45,602

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当社は、平成21年12月22日付で株主割当増資の払込を受けました。この結果、当第3四半期累計期間において資本金が72,740千円、資本準備金が72,740千円増加し、当第3四半期会計期間末において資本金が2,394,398千円、資本準備金が、314,304千円となっております。